

市議會三月定例會

小田原市報

第36号

発行所  
小田原市役所  
小田原市幸1の138  
編集兼発行人  
石井重治

完備一部三

員會の審査終了をまつて定例會は午後一時五十八分閉會した

決算特別委員長報生

濟即ち滯納がありませ  
るので、この滯納額を  
字額より差引きます  
金七百四十四萬三千  
十二圓四十五錢とね

す赤字都市として指定されてもかかわらず、その中途において自治廳なりより赤字都市として指定されたにもかかわらず、財政的大出血を餘儀なくされた。十八

第三には形式上の不備として領收證に用途の記入なきもの、責任者の捺印なきもの等がります。

濟即ち滯納がありますので、この滯納額を赤字額より差引きますと金七百四十四萬三千八十二圓四十五錢となりこの額が即ち純赤字額と考えられるわけであります。

あい、それが復興のため財政的大出血を餘儀なくされたにもかかわらず、その中途において自治廳より赤字都市として指定せられ、二十六年度末には約金六千萬圓程度の赤字が出るよう推定せられ

第三には形式上の不備として領收證に用途の記入なきもの、責任者の捺印なきもの等がありましたが、これらについては審査の際、係の者に注意を致ります。

三月定期議會は十二日の説明の後、直ちに原案を開會し、二十七日閉會した。會議の事項は別掲の通りである。

第一日（三月十二日）午後一時十分開會、會期諮詢問第1號は原案に同意を二十日以内と定め、會するに決定、次に認議錄署名議員を指名した定第一號より認定第五號後、議事日程を定め、審までの五件は決算特別委員會に入つた。市會議案第十一號は市長の提案理由ことに決定し、委員十

括上程、原案を可決し、

第二十號までの九件を一

會議事項

|       |                                     |       |                                     |
|-------|-------------------------------------|-------|-------------------------------------|
| 第五十八號 | 起債について<br>（災害復舊土木事業費）               | 第五十九號 | 起債について<br>（都市水利整備事業費）               |
| 第六十號  | 起債條件の變更について<br>（重要幹線街路整備事業費）        | 第六十一號 | 起債條件の變更について<br>（失業對策事業費）            |
| 第一號   | 公安委員の選任について                         | 第一號   | 昭和二十六年<br>小田原市歲入歲出決算認定について          |
| 第二號   | 昭和二十六年<br>小田原市競輪事業費歲入歲出決算決定について     | 第二號   | 昭和二十六年<br>小田原市歲入歲出決算認定について          |
| 第三號   | 昭和二十六年<br>小田原市水道事業費歲入歲出決算認定について     | 第三號   | 昭和二十六年<br>小田原市公益質屋事業費歲入歲出決算認定について   |
| 第四號   | 昭和二十六年<br>小田原市國民健康保險事業費歲入歲出決算認定について | 第四號   | 昭和二十六年<br>小田原市國民健康保險事業費歲入歲出決算認定について |
| 第五號   | 昭和二十六年<br>小田原市公益質屋事業費歲入歲出決算認定について   | 第五號   | 昭和二十六年<br>小田原市國民健康保險事業費歲入歲出決算認定について |

二十五萬七千一百二十二圓五四錢の歳入不足を生じましたので、同金額を昭和二十七年一度より繰上充用をして收支のバランスを圖つてあるのあります。その原因と思われる主なるものを申し上げますと、市税において金九百五十四萬八千六百九十六圓九十八錢、公營企業及び財産收入において金二千七百六十円、市債において一千六萬二千四百八十八圓、十八錢、平衡交付金において三百八十九萬三千圓、市債において一千二百二十萬圓の減收を來したためであります。しかし市税においては豫算現額一億七千六十八萬二千九百十円に對し、調定額は百六十二圓十一錢で、繰越額を含めて一億七千八百四十四萬八千二百四十三圓十一錢増加しております。收入申し上げたい事は、皆様御承知のように十一月二十八日未曾有の大火灾に

干掘下げてその遠因を究明してみたいと存じます。即ち本市の赤字は昭和二十四年度に始まつたのであります。その一般的原因は終戦後政治體制が中央集權から地方分権へと移行せられ、その結財政への轉換を図られた結果當然行政事務の再配分が行われ、各種國家事務が行われ、各級の移譲をうけ、又は教育の六三制實施等によつてそのものが萎縮してはならないと存じますので、今後努力されますが、財政的裏付けを附與せられなかつた事と、一方、本市の特殊事情としては本市が市制施行後直ちに戦争に入つたため都市の整備をする暇がなかつたので、終戦後急速に本市は地形の關係上、災害が多くその復舊に多大の費用を要した事等、悪条件がかさなり合つてこのように赤字を生じた事と考えられるものであります。なおこの際、特に申し上げたい事は、皆様の消費せられたものでないにしても、赤字は決して好ましくないとも考へられておりますので、今後努力されますが、これはこの節を毎年度節約したところの金額は豫算編成時ある程度減額して工務費に消費せられたものであります。しかし本市の赤字が冗費を節約し、健全化のため元氣を回復する所として好ましくないとも考へられますので、今後努力されますが、これはこの節を毎年度節約したところの金額は豫算編成時ある程度減額して工務費に消費せられたものであります。

教育委員會において御検討あらん事を切望致す次第であります。然しながら新玉、富永、櫻井等の小學校は非常に整備されておりました事を御報告する反面特に一中のわれわれ決算委員に對する態度につきましては遺憾の點がありましたので、教育委員會においては十分警告を發していただきたいと存ずるのであります。

## 昭和26年度小田原市歳入歳出決算

| 歲<br>款<br>別         |                  | 入<br>決<br>算<br>額 |                | 歲<br>款<br>別       |                  | 出<br>豫<br>算<br>額 |                |
|---------------------|------------------|------------------|----------------|-------------------|------------------|------------------|----------------|
|                     | 豫<br>算<br>現<br>額 | 圓                | 圓              |                   | 豫<br>算<br>現<br>額 | 圓                | 圓              |
| 市 稅                 | 170,682,919.     | —                | 161,134,222.02 | 議 會 費             | 8,718,057.       | —                | 8,684,170.—    |
| 地 方 財 政 平 衡 交 付 金   | 35,000,000.      | —                | 31,107,000.    | 市 役 所 費           | 65,307,501.      | —                | 63,293,372.—   |
| 公 营 企 業 及 び 財 產 收 入 | 62,652,226.      | —                | 34,989,737.82  | 警 察 消 防 費         | 51,499,895.      | —                | 50,882,921.—   |
| 使 用 料 及 び 手 數 料     | 7,935,394.       | —                | 7,828,203.     | 土 木 費             | 63,022,555.      | —                | 59,117,950.—   |
| 國 庫 支 出 金           | 67,010,347.      | —                | 62,698,505.    | 教 育 費             | 60,544,011.      | —                | 46,324,508.—   |
| 縣 支 出 金             | 14,205,813.      | —                | 13,286,401.    | 社 會 及 び 勞 動 施 設 費 | 60,298,379.      | —                | 54,220,563.—   |
| 寄 附 金               | 6,397,476.       | —                | 5,950,756.     | 保 健 衛 生 費         | 13,916,854.      | —                | 11,387,281.—   |
| 雜 收 入               | 8,119,497.       | —                | 7,407,465.35   | 產 業 經 濟 費         | 10,076,869.      | —                | 9,634,671.—    |
| 市 債                 | 42,900,000.      | —                | 30,700,000.    | 觀 光 費             | 7,258,435.       | —                | 7,023,065.—    |
| 計                   | 414,903,672.     | —                | 355,102,290.19 | 財 產 調 查 費         | 1,885,427.       | —                | 1,585,468.72   |
|                     |                  |                  |                | 統 計 調 查 費         | 508,800.         | —                | 322,700.—      |
|                     |                  |                  |                | 選 舉 費             | 1,396,704.       | —                | 1,115,856.—    |
|                     |                  |                  |                | 公 債               | 11,759,511.49    | —                | 10,765,911.31  |
|                     |                  |                  |                | 諸 支 出             | 53,588,369.      | —                | 51,006,437.70  |
|                     |                  |                  |                | 災 害 對 策 費         | 4,922,035.       | —                | 4,494,538.—    |
|                     |                  |                  |                | 豫 備 費             | 200,269.51       | —                | —              |
|                     |                  |                  |                |                   | 414,903,672.     | —                | 379,859,412.73 |

| 計          | 算 | 書              |
|------------|---|----------------|
| 歳入合計       |   | 355,102,290.19 |
| 翌年度より繰上充用金 |   | 24,757,122.54  |
| 計          |   | 379,859,412.73 |
| 歳出合計       |   | 379,859,412.73 |

昭和26年度小田原市競輪事業費歳入歳出決算

| 歲<br>款<br>別 | 豫<br>算<br>現<br>額 | 入<br>決<br>算<br>額 | 歲<br>款<br>別  | 豫<br>算<br>現<br>額       | 出<br>決<br>算<br>額 |
|-------------|------------------|------------------|--------------|------------------------|------------------|
| 競輪事業收入<br>計 | 965,744,300      | 959,616,728      | 競輪事業費<br>豫備費 | 964,830,316<br>913,984 | 954,760,423      |
|             | 965,744,300      | 959,616,728      |              | 965,744,300            | 954,760,423      |

歳入歳出差引残金 4,856,305.一 翌年度繰越金

昭和26年度小田原市水道事業費歳入歳出決算

| 歲<br>款<br>別 |              | 入<br>決<br>算<br>額 |     | 歲<br>款<br>別  |               | 出<br>決<br>算<br>額 |   |
|-------------|--------------|------------------|-----|--------------|---------------|------------------|---|
|             |              | 圓                | 圓   |              |               | 圓                | 圓 |
| 事業收入        | 18,428,500.— | 12,921,414.—     | 事業費 | 34,848,035.— | 26,908,797.70 |                  |   |
| 線越金         | 2,003,538.—  | 2,244,053.62     | 備費  | 584,003.—    | —             |                  |   |
| 市債          | 15,000,000.— | 15,000,000.—     | 計   | 35,432,038.— | 26,908,797.70 |                  |   |
| 計           | 35,432,038.— | 30,165,467.62    |     |              |               |                  |   |

歳入歳出差引残金 3,256,669.92 翌年度繰越

# 昭和26年度公益質屋事業費歳入歳出決算

| 歲<br>款<br>別 |  | 入<br>豫<br>算<br>現<br>額 |   | 歲<br>款<br>別   |  | 出<br>豫<br>算<br>現<br>額 |              |
|-------------|--|-----------------------|---|---------------|--|-----------------------|--------------|
|             |  | 圓                     |   |               |  | 圓                     |              |
| 事業收入<br>計   |  | 21,654,100.—          | 圓 | 19,828,151.19 |  | 19,538,672.—          | 圓            |
|             |  | 21,654,100.—          |   | 19,828,151.19 |  | 2,115,428.—           | —            |
|             |  |                       |   |               |  | 21,654,100.—          | 18,280,311.— |

歲入歲出差引殘金 1,547,840.19 翌年度繰越

# 昭和26年度小田原市國民健康保険歳入歳出決算

| 歲<br>入        |             | 歲<br>出      |       |            |             |
|---------------|-------------|-------------|-------|------------|-------------|
| 款 別           | 豫 算 現 額     | 決 算 額       | 款 別   | 豫 算 現 額    | 決 算 額       |
| 國民健康保<br>險徵收金 | 46,489,125圓 | 20,625,105圓 | 事 業 費 | 48,931,172 | 23,602,330圓 |
| 使用料及び         | 252,000     | 57,425      | 豫 備 費 | 858,408    | —           |

2,292,155 3,580,560 計 49,789,58

歳入歳出差引残金 1,360

※ たしは般表しじ跡心て成上て まむをし最

審査に付する。この理は周到に苦に苦しむが窺し、して、した以、以、會計の次第とされ、歲入宗の收入をまず

最高度の効率をあげ  
しかもあくまで健全  
を堅持するの豫算と  
むべきを期したので  
ます。

しめ  
財政  
せし  
あり

増當承でさ

た一般零細市民の要望に應成績であることは、醫藥品質  
下薬或は店舗の新設を必要とする所であります。運營費と痛感させられるのであります。  
次に「國民健康保険事業」について申し上げます。  
本市においては社會保障制度の一環として施行された事業であるが、歳入面において監査委員の審査報告の通りであるが豫算編成に當つて歳出とのバランスが非常に適切に計上されておるのは新設事業の初年度である事を考えた時、洵に頗しく感ぜられ敬服にたえないと存じます。  
特に保険料收入は調定額二千一百六十萬九百三十七圓の九五・五%を徵收されておるが、この百分率は全國的にみて新潟諸公が先進都市をよく研究観察して下さいまして

入におきまする競輪收入  
入による繰入金は四千  
万圓を計上してあります  
すが、これまた九回制の  
公算はあると致しまして  
も、目下要請を續けてい  
る現状であり、なお且つ八千五百万圓  
の賣上についても、今後  
の社會情勢等を考慮する  
時は、これ以上に見込む事は困難と考え  
られるので、實施回數の決定と賣上狀況を見  
極め時機を待つ事として  
これ以上の計上は差し控うべきであるとの結  
論に達したのであります。

## 豫算特別委員長報告



